

2019年度事業計画

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding

目的 世界の中、とくにアジアの中の日本を知るため、日本の歴史や現状を学び、国際理解を深める。日本の学生、留学生、青年が国内外のプログラムに参加する際の事前学習として位置付け、議論ができる力を育む

対象 学生一般（大学生、大学院生、留学生など）青年

内容 CENA夏期学校参加を前提に、当夏期学校のテーマに沿った学習を実施

■CENA (Civil Society Education Network in Asia)夏期学校(共催)

目的 CENA夏季学校はアジアの歴史を学び、各国の情勢や社会問題を討議し、武力によらない平和構築に向けて学生が学び合うプログラム

対象 参加団体の学生、青年

内容 沖縄にて開催予定。昨年に引き続き「国家暴力」をテーマに教授のレクチャーや学生のプレゼンテーションを行い、現地研修のため1日のフィールドワークを行う。

参加団体：恵泉女学園大学、聖心女子大学、韓国・聖公会大学校、韓国・韓信大学校、台湾・世新大学、タイ・Asia Muslim Action Network、インドネシア・イスラーム大学、パキスタン・CWSA、早稲田奉仕園

日程：4～6月 事前学習

8月26日～31日夏期学校開催

9月 事後学習

10月 報告書発行

運営方式：参加団体よりなる運営委員会を組織し企画・運営。日本での開催となるため、早稲田奉仕園も中心的役割を担う

共催：参加9団体による共催

助成：庭野平和財団、ウェスレー財団

■日中大学生による相互交流ワークショップ

目的 相互交流ワークショップを通じて、異なる文化や価値観を受容することができ、国際的視野が広がるといった参加者の成長、グローバル人材としての向上が図られることを目的とする

対象 中国側：延辺大学学生 日本側：大学生および大学院生

内容 2017年企画当初より継続実施を予定しており、更に参加者たちから好評を得られたため、2019年度から事業名を「日中大学生による相互交流プログラム」とし、人数も拡大して本格的に実施する。「来日」と「訪中」の2つのプログラムより構成

(1) 来日プログラム (旧：中国延辺大学「日本文化体験研修プログラム」)

日時：2019年7月26日～8月4日

会場：早稲田奉仕園

参加者：中国吉林省延辺大学学生

内容：日頃真剣に日本語を学んでいる大学生が実際に日本に来て、勉強会、企業訪問、地域コミュニティへの見学、茶道や着付けなどを通じて、日本の文化、社会への理解を深め、自分自身を振り返り、国際的な視野が広がりへ繋げる

(2) 訪中プログラム (旧：国際交流ワークショップ in 中国延辺大学)

日時：2019年9月1日～7日

会場：中国吉林省延辺大学

内容：中国の民族大学である延辺大学を訪問し、現地の大学生とワークショップや発表会を実施。講演、ホームビジット、ゲストスピーカーとして授業参加等を通じて、現地の文化的背景や歴史、習慣等への理解も深める。グローバル人材として不可欠な国際的な視野を獲得し、とくにアジアの多様性に目を向ける人材育成を目指す

■韓国ハンバット大学日本インターン研修

目的 日本語学科で学ぶ学生の日本の企業・団体、社会、文化に対する理解を深め、将来日本関連の就職を考える学生のキャリア形成の一助とし、日本企業・団体に活躍できる人材を育てる

対象 韓国ハンバット大学日本語学科学生

内容 都内及び近郊の企業、NGO、公益団体等でフルタイムインターン(現場実習)を実施、奉仕園は受入れの窓口となる。奉仕園施設に宿泊し、友愛舎生など日本の学生との交流もはかる。なお、当実習はハンバット大学の単位認定がなされるプログラムである
参加者：5名

期間：2020年1月～2月の4週間

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

目的 留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進する。日本の大学生と留学生が交流できる場を提供し、充実した留学生活を送れるようサポートする。日本語ボランティアの会に参加する在日外国人の方々にも歌舞伎鑑賞などを通じて、文化体験の機会を提供する

対象 国際学舎に居住する留学生および早稲田大学留学生、大学生一般、日本語ボランティアの会

内容 6月 歌舞伎鑑賞(国立劇場にて、日本語ボランティアの会学習者と合同)

8月 隅田川花火見物(日本基督教団東駒形教会にて)

11月 高尾山紅葉狩り

1月 餅つき(早稲田教会と合同)

通年 カフェを月2回(3号館1階ロビーにて、第1・第3金曜日夕方)開催し、季節ごとにイベント(茶道、七夕、生け花、書き初め、豆まき、ひな祭りなど)も行い、日本と外国人留学生が交流できる機会、ボランティアスタッフへ留学生活の悩み相談などをできる機会を作る

■韓国の人々に学ぶスタディーツアー2019

目的 2016年、ろうそく集会と腐敗政権の弾劾は、世界中の人々に民主的に社会を変えていこうとする韓国民衆の姿を見せてくれた。変わりつつある韓国社会の中で、韓国の人々はさまざまな課題にどのように向き合い、どのような社会を目指そうとしているのかを学び、私たちの暮らす日本に大切なヒントとする

対象 社会人、学生

内容 ソウル周辺のいくつかの現場を訪ねて、取り組んでいる課題や実践の状況を学ぶ

期間：10月11日～14日の3泊4日

参加者：定員15名程度

プログラム：ソウル市庁見学とレクチャー、ジェンダー問題(大学にて概説&大学見学と運動団体1か所)、市民メディアなどを予定。9月に事前学習を行う

■STUDY HALL!

目的 単発の講演会、映画上映会、料理(レシピ)教室、ワークショップ、フィールドワークなどの単発イベントを束ねる枠組み

対象 社会人、学生

内容 臨機応変に設定できる講座として、共催や持ち込みプログラムを取り込んで講座の幅を広げたい。また、寮に滞在の留学生・研究員を講演者にしたり、セミナーハウスのチャリティー古本市との連携も視野に入れて企画したい。企画委員会は年2回開催予定

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

目的 日本語の学習を必要とする人に日本語学習の支援をするとともに、国際交流を深める

対象 ボランティア講師：奉仕園日本語教師養成講座修了者

学習者：日本語学習を必要としている10歳以上の方、どなたでも

内容 「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア講師として日本語を必要と

している学習者にボランティアで日本語を教える。課外活動、学習者発表会、新年会、研修会など随時行い、豊かな交流を図る。ボランティア講師の研修会等も実施する

開講日：水曜日：3クラス 金曜日1クラス

■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会(共催)

目的 日本社会で暮らす在日外国人への無料相談窓口を開設することで、行政や教育的な制度活用を支援し、共に生きる社会を実現していく

対象 在日外国人、大学生・院生ボランティア

内容 生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人が集まって、相談業務に当たる。2019年度の活動実績をもとに今後の継続の可否を検討する

開催：年4回 第2日曜日午後1時から5時

主催：早稲田ネットワーク

■災害被災者支援ボランティア活動

目的 災害の支援ボランティア活動に参加し、被災地や被災者の状況を知り、共に生きる社会を実現していく。防災や減災の意識を醸成し、自然災害に対してどのように向き合っていくか、自助と共助の精神を養う。東日本大震災に関連したボランティア活動を継続し、被災者の課題を理解する

対象 大学生、院生、留学生

内容 ・夏の富士山登山プログラムをNPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクトと協力し、学生と被災者家族の方々ともに富士山の山頂を目指す。登頂する達成感を味わうことで子どもの自己肯定感を育み、留学生との国際交流の機会を提供する(早稲田大学との協力による学寮運営事業 第9回富士山登頂研修旅行参照)

・災害発生時、信頼できる受入先がある場合に初期のボランティア活動に参加する(2015年鬼怒川決壊により茨城県常総市水海道でボランティア派遣、2016年熊本地震への学生ボランティア派遣)

■野宿者支援給食活動(共催)

目的 野宿者、生活困窮者の方々へ食事や保存食、支援物資を渡すボランティア活動を通し

て、格差社会や貧困、生存権の問題を身近に感じる

対象 大学生、院生、留学生、社会人ボランティア

内容 奉仕園、日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センター、早稲田教会、東京平和教会有志と協働し、150人分の食事、保存食、支援物資を準備、渋谷にて配食活動。偶数月には配食後のドリンクタイムで、ボランティアの弁護士や司法書士による相談会を行う。保存食の提供はセカンドハーベストジャパン、キリスト教学校、東京都などからいただく

日時：月2回(原則第1、第3日曜日)午後から夕

共催：早稲田奉仕園、日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センター、早稲田教会

協力：NPO法人セカンドハーベストジャパン、キリスト教学校、東京都

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア講座

目的 1973年創設のアジア語講座を母体として、アジアに関連した映画や講座などを実施し文化理解の場を提供する

対象 社会人、学生

内容 ・夜間通学式の語学講座は2018年度をもって終了。先生と受講生の自主クラスのサポートは引き続き行う

・土曜入門集中講座：ヒンディー語、ベンガル語、ベトナム語、ミャンマー語、モンゴル語の初心者向けの入門講座。はじめて言語を本格的に学び、基礎的な文法や会話文などを理解できるようになる

期間：前期6月22日～7月20日 毎週土曜日全5回

後期：11月予定

・ギャラリー展示、映画上映会やスタディホールでの企画などを予定

■日本語ボランティア養成講座

目的 年々外国人が増えてきている中、それぞれの地域に居住する外国人が暮らし易いよう

に、また、日本語を介してコミュニケーションができるように、日本語を外国人にボランティアで教えるノウハウを学ぶ

対象 社会人、学生

内容 外国人に日本語を教えるノウハウを学ぶ講座。初級Ⅰ、初級Ⅱ、中・上級を1年かけて学ぶ。初級Ⅰ終了後からボランティア活動が開始できるようになる

期間：初級Ⅰ 4月～7月 全15回

初級Ⅱ 10月～12月全11回

中・上級 2020年2月全4回

講師：山本和子(武蔵大学・防衛大学校、非常勤講師)

■Let's 朗読

目的 朗読の基本や声の出し方などを学び、元気を養い、普段の生活に張りを与える。

詩や物語の世界で感性を磨く

対象 社会人、学生

内容 ストレッチで体をほぐした後、発声練習で発音や発声をクリアにし、作品に取り組み、詩や物語を感じながら朗読する

期日：前期・後期の2期制各期8回、1回120分

講師：飯島晶子(朗読家・「VoiceK」主宰)

■スコットホールでゴスペルを歌おう

目的 声をしっかり出し歌を歌うことにより元気になる。メンバーとのコーラスワークでハーモニーを楽しみつつ、習った歌をプログラムに組み込んで地域やデイケアなどの施設でボランティアとして披露する

対象 社会人、学生

内容 スコットホールで思い切り声を出し、合唱を楽しんで元気になる。ストレッチ、ボイストレーニングをし、シーズンの課題曲(講師によるオリジナルアレンジ曲)を練習。クリスマスには発表会を開く

レッスン期間：シーズン1(4月～6月)、シーズン2(7月～9月)、シーズン3(10月～

12月)、シーズン4(1月～3月) 各シーズン7回

講師：藤子(プロシンガー)

イベント：新宿区レガスマつり出演(4月)、介護老人ホームなどでのボランティアプロ

グラム(8月・12月)、スコットホールクリスマス発表会(12月12日)

■パイプオルガン講習会【新規】

目的 キリスト教会での奏楽者のスキルアップ、キリスト教音楽への理解の促進

対象 社会人、学生

内容 プロのオルガニストによる個人レッスンと演奏発表会

期間：夏季からの実施を予定。

講師：水野均(桐朋学園大学講師、早稲田教会オルガニスト)

協力：早稲田教会

■聖書講座 - 新しい聖書の学び『マルコ福音書をジックリ読む(Part2)』(共催)

目的 聖書のメッセージの今日的意味を学び、自らの人間形成に役立てる

対象 学生、社会人

内容 2018年度の継続で「マルコ福音書」2章23節以下を丁寧に読み進める。フェミニスト、ポストコロニアル、クイア、障碍の神学などからの新しい読み方も紹介

期間：通年毎月第2火曜日全10回

講師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

共催：早稲田奉仕園、日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■記念事業

ベニンホフ記念館(5号館)竣工・セミナーハウス開設50周年(2020年4月)及びスコットホール献堂100周年(2022年1月)を迎えるにあたり、記念事業と募金を行う。2019年度は下記の項目を実施する。募金は2020年1月より2022年3月まで、建物の改修及び記念事業実施のため実施予定(詳細は6月理事会に諮る)

■被爆ピアノコンサート「未来への伝言」【記念事業】

目的 広島在住の調律師・矢川光則さんが被爆したピアノを演奏できるように修理し、2000

年から国内外で演奏会が開かれてきた(2017年のノーベル平和賞授賞式コンサートでも演奏)。2020年には被爆ピアノの誕生を追う映画「おかあさんの被爆ピアノ」が上映予定(出演者：佐野史郎ほか)。朗読講座講師・飯島晶子先生のライフワークとして行なっている当コンサートを共催にて開催し、平和を考えるひと時とする

対象 一般

内容 日時：2019年8月9日 昼の部 13時30分開場、14時開演、16時終了予定

夜の部 18時開場、18時30分開演、20時30分終了予定

会場：スコットホール

出演：ピアノ 谷川賢作、鷺宮美幸

ヴァイオリン 佐久間大和

歌 おおたか静流

朗読 飯島晶子

演劇 クラーク記念国際高等学校

メッセージ 川崎哲(I CAN)

パイプオルガン演奏も検討中

展示：8月1日より11日までギャラリーにてNPO法人世界ヒバクシャ展による写真展開催

■パイプオルガンコンサート【記念事業】

目的 2019年1月に設置されたパイプオルガンのお披露目も兼ねてキリスト教音楽を楽しむ

対象 社会人、学生

内容 開催日：11月4日

オルガン演奏：今井奈緒子(霊南坂教会オルガニスト)

共演：未定

協賛：早稲田教会

■杉原千畝と奉仕園-1920～1930年代に奉仕園に係わった学生・留学生たち(仮題)【記念事業】

目的 創立から1930年代の早稲田奉仕園に係わった学生・留学生の活動を振り返り、奉仕園

の社会的役割、朝鮮半島をはじめアジアとの関係に光を当てる

対象 社会人、学生

内容 杉原千畝、宋継白(留学生・2.8 独立宣言署名者)、増田甲子七(戦後閣僚を歴任)など
信交協会のメンバーやスコットホールを会場にした留学生たちの活動と奉仕園の係わりを検証し、シンポジウム、展示会などを開催する予定

開催予定：秋

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

目的 「学舎に集う一人一人が互いに仕え合い、共に生きる中で研鑽を重ね、人生の求道者として生きる」友愛学舎の精神に則り、共同生活を積極的におこない、友愛学舎及び奉仕園の活動に自発的に参加し、これらの交わりを通して自己形成を志し、大学生生活の充実をはかる

内容 舎生数：4年生の3名、3年生3名、2年生3名に加え新1年生4名を募集

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の7時から7時30分まで。聖書講読はマルコによる福音書及びマタイによる福音書を学ぶ

舎生会 毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合う

年間活動 新入生を含めたオリエンテーションを1泊にて実施、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持つ。入舎式・卒舎式をはじめ、年中行事を楽しむ会などを担当し企画運営をおこないながら自己研鑽をする。教会はじめ外部団体と連携し海外研修やボランティアの機会を提供し、広い視野を持って社会に出て行かれるようサポートをする

カウンセラーとして早稲田教会奥山京音伝道師を迎え、早稲田教会古賀博牧師、東京平和教会大矢直人牧師、米国福音自由教会宣教団中沢重光先生に聖書講読のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕をいただく

■キリスト教学生寮懇談会

目的 キリスト教学生寮の運営担当者が集まり、寮活動の情報交換、学習会等を通じて学び合い、寮運営の充実をはかる

対象 都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮(現在9団体)

内容 懇談会をもちまわりで開き、寮の課題、寮生募集等について話し合う

■ゲストハウス

目的 日本での寮生活を通じて豊かな人間形成を目指す。また、経験・体験を通じて日本理解をし、同時にグローバルな感覚を身につけ、リーダーシップを備えた国際的視野にたつ青年の育成を目指す

対象 外国人留学生

内容 教育寮機能を有する寄宿舍7室の管理運営。国際交流、国際理解サークル活動を通じて国際相互理解の促進を行う。友愛学舎とともに奉仕園の活動に参加する

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

■国際学舎

目的 早稲田大学の外国人留学生、研究員が勉学、研究に励み、安心して寮生活を送れるようにする。滞在中に日本文化に触れるプログラムを通して、日本の歴史、習慣、文化を学び、理解を深めるとともに、国際交流を深める

対象 早稲田大学の外国人交換留学生、早稲田大学外国人研究員

内容 ・第1国際学舎(3号館2階～12階)、第2国際学舎(1号館3階・4階)、第3国際学舎(5号館2階～4階)計152室を運営

・入寮9月上旬及び3月中旬 退寮8月上旬及び2月上旬

・入寮オリエンテーション(9月・3月)、避難訓練(9月・3月の入寮時)、クリスマスカード送付(12月)

・2020年夏に5号館2階から4階の第2国際学舎の設備・内装を中心に大規模修繕を予定。2019年度中にコンセプトを整えたくうえで早稲田大学と相談、見積り等の作業

を実施

■健康相談室の運営

目的 寮内に住んでいる外国人留学生、友愛舎生、研究員が心身とも健やかに生活できる環境を整える

対象 国際学舎留学生・研究員、友愛学舎生、ゲストハウス生

内容 近隣の病院の紹介、感染症の予防、栄養指導などをしてサポートする。既往歴のある居住者には面接をし、現在の病状を把握し通常の生活ができるようにサポートする

開室時間 隔週月曜日 14時-18時 看護師在室

隔週木曜日 14時-18時 臨床心理士在室

第3火曜日 16時-18時 精神科医在室

(2、3、8月は医師休み、看護師、臨床心理士は月1回となる)

■FRIDAY・NIGHT&奉仕園クリスマス会

目的 留学生、日本人を含め奉仕園内の寮で生活をする学生の親睦をはかる

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 ・Friday Nightは4月及び9月入寮時に実施するパーティー。9月はJapanese Nightとして友愛学舎がホストを務める

・クリスマス会は12月14日に開催、寮生によるアトラクションや静かなひとときを中心に交流パーティーを実施

■第3回北海道研修旅行

目的 地方の文化や人々、都会では経験することのできない豊かな自然に触れ、多面的な日本理解を深める、史跡散策、学校訪問などを通じ現地の文化に触れ、人々との交流をおこなう

対象 早稲田大学在籍の外国人留学生

内容 北海道三笠市及び札幌市を訪問し、炭鉱遺跡見学、地元の高校生・小学生との交流、スキー、札幌市内見学など

参加者：学生10名

期間：2020年2月の2泊3日

協力：三笠市教育委員会

■第9回富士山登頂研修旅行

目的 東日本大震災被災者支援活動、日中大学生による相互交流ワークショップ来日研修を兼ねるプログラム。富士山の自然に触れつつ、国際交流をしながら、学生・被災者親子等参加者全員で山頂をめざす。登頂する達成感を味わうことで子どもたちの自己肯定感を育む

対象 早稲田奉仕園寮生、延辺大学訪日研修学生ほか大学生・院生・留学生、東日本大震災被災者の方

内容 1日目はYMC A東山荘にて富士山のこと、登山の知識等のレクチャーを受ける。翌日より1泊2日で山頂をめざす

参加者：学生及び被災家族計20名程度

期間：7月31日～8月2日2泊3日(1泊は山小屋)

協力：日本YMC A同盟東山荘

NPOココロとカラダを育てるハッピープロジェクト

■ホームビジット

目的 日本人家庭を訪問し、一般的な日本人の暮らしを体験する。ホストファミリーとして迎えていただくご家庭には、異文化、異世代の若者と交流することにより、新しい出会いを楽しんでいただく

対象 早稲田奉仕園寮留学生

内容 ホストファミリーとして留学生をご自宅に招いてもらい、食事を一緒にし、近所の公園、スーパーマーケットなどを案内。留学生の関心に合わせて、一緒に食事を作ったり、お茶、活け花などのプログラムやおしゃべりを楽しんでもらう

期日：前期6月8日～6月30日、後期10月26日～12月1日

協力：早稲田奉仕園OB OG、早稲田教会、日本語ボランティアの会、稲門会ほか

■Cooking Exchange Program

目的 各国の料理を共に作り、共に食べることを通じて国際理解を促進する

対象 早稲田奉仕園寮生

内容 各国の料理を共に作り、共に食べる

期日：年4回実施予定

参加者：1回あたり15名以内

■第4回留学生インスタグラム写真展

目的 外国人留学生によるユニークな視点で撮影された写真を展示することで、日本や自国について多様な視点から新しい一面が発見され、相互理解を深め、交流促進に役立てるきっかけにしたい

対象 日本に住んでいる海外からの留学生

内容 SNSインスタグラムでテーマに沿った写真を投稿してもらおう。写真家北田英治氏と早稲田奉仕園で選考する

応募期間：4月1日～5月15日、ホームページ、ブログやSNSでの告知のほか、繋がりのある日本語学校や大学の掲示板に掲示

受賞作品の選定と表彰式：6月

協賛：公益財団法人高山国際教育財団、万座温泉日進館万座温泉ホテル、国際教育交流協議会

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

目的 収益事業として財団運営を財政的に支える。

対象 早稲田教会、東京平和教会、近隣企業、団体、居住者

内容 礼拝堂、教会事務所、宣教師館・牧師館としての施設貸出し、月極駐車場及びNGO

事務所の賃貸

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■セミナーハウス施設の貸与

目的 施設の貸与を通して市民や学生をはじめとするお客様に、出会いと活動の場を提供し、それぞれの活動の促進を図る。また収益事業として財団運営を財政的に支える

対象 市民団体、NGO、NPO、民間企業、キリスト教団体、学生団体、個人ほか

内容 会議室、ホール、ギャラリーの利用は学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、アートの発表展示、CMやTVドラマのロケなど多岐に渡る。東京都歴史的建造物として選定されているスコットホールの動態保存にも努める。インターネット予約及び空き状況の照会を2018年10月より導入し、利用性の向上をはかっている

■セミナーハウスプログラム

目的 文化的イベントの主催、公益活動実施団体への協賛を通じて、市民活動の活性化をはかる。また、スコットホールの文化財としての価値を高める

対象 市民団体、NGO、NPO、民間企業、キリスト教団体、学生団体、個人ほか

内容 早稲田スコットホールギャラリーにて年数回の企画展示、チャリティー古本市年2回、東京都文化財ウィークに参加しスコットホール公開ほか

3. 事業共通業務

■事業評価

「参加型評価」の手法により、事業の目的、効果等を再検証し今後の改善や新規プロジェクトの立案に役立てる

■広告・宣伝

引き続きフェイスブック、ツイッター、ブログ等多彩なメディアの活用を促進する。また、効果的な広告や宣伝方法を模索し、奉仕園の情報発信力を高める

■施設管理

おもな施設更新、備品購入等は次のものを予定している

収益事業 スコットホール地下会議室の内装改修

ホール・会議室備品更新、映像機器の導入

4. 法人総務

■広報

奉仕園通信の発行は年2回を予定

■賛助会員の募集

本年度も引き続き賛助会員の加入を勧める

■財団会議

理事会：第1回定時理事会(6月)、第2回定時理事会(3月)

評議員会：定時評議員会(6月)

常任理事会：数回開催

このほか必要に応じ、臨時理事会、評議員会、評議員・理事・監事懇談会を開催する

■監査

監事監査(5月、11月)及び監査法人監査(5月、11月)

■内閣府関係

2014年10月の立入検査後4年が経過するので、本年度中の立入検査が予想される

■役員人事

2019年6月にて現評議員・理事・監事とも任期満了となり、定時評議員会にて役員、評議員を選出する。新理事の選出後、理事会にて理事長、専務理事及び常任理事の選任を行う

■早稲田正午礼拝

近隣教会、団体有志による礼拝を毎月2回おこなう

■ホームカミングデー

2年毎に開催しているホームカミングデーの開催に向け、日時及びプログラム等をOBOGと協議する

■キリスト教施設長会

職員研修：4月24日から26日まで神戸学生青年センター及び関西学院千刈キャンプを会場に実施、職員2名を派遣する

施設長会議：2020年1月24日から26日まで韓国YMCA及び早稲田奉仕園を会場に開催する

2019年度予算

- ・ 別紙収支予算書参照
- ・ 一般正味財産は合計で963万円の増加、公益目的事業単体では603万円の赤字であるが、収益事業収益の繰入後652万円の黒字となる。この剰余金は、2020年に実施予定の学生寮大規模修繕に充てる資産取得・改良金として600万円を積み立てるほか、その他公益目的事業に供する資産の取得に充当する。

■資金調達及び設備投資

(1) 資金調達の見込みについて

資金調達の予定なし

(2) 設備投資の見込みについて

おもな施設の改修、設備の更新は下記の通りである

建物建設支出	スコットホール地下会議室改修工事	収益事業	2,000,000
什器備品支出	セミナーハウス会議室ディスプレイ設置	収益事業	500,000
	セミナーハウス会議室エアコン更新	収益事業	500,000
	YOU-Iホール椅子・テーブル更新	収益事業	1,200,000
	YOU-Iホール天吊りプロジェクター設置	収益事業	500,000
合計			4,700,000